

危険予知活動リーダー研修会 参加報告

伊藤眞子・遠田明広・一条洋和（報告者）

1. はじめに

平成25年11月14日・15日に酒田市総合文化センターで行われた、危険予知活動（KYT）リーダー研修会（中央労働災害防止協会主催）に参加した。出席者は42名であった。

2. 日程

<1日目>

9:00-12:00 導入（指差し呼称・KYTの目的）
12:45-17:00 KYTの進め方（基礎①）

<2日目>

9:00-10:25 KYTの進め方（基礎②）
10:35-11:10 KYTの進め方（応用①）
11:10-12:20 各社情報交流
13:05-15:25 KYTの進め方（応用②）
15:35-16:20 チームミーティングの進め方
16:30-17:00 閉講式

3. 研修内容

・KYT基礎4ラウンド法

KYT基礎4ラウンド(4R)法とは、①危険の洗い出し、②危険のポイント決定、③対策の洗い出し、④行動目標決定の4つのステージに分かれて危険予知の訓練を行う手法である。今回の研修会は、この手法に基づき行われた。1日目の午後および2日目の午前は、4～5人のグループに分かれ、話し合いの内容を模造紙に書き出しながら進めた。その際、図1のようなイラストを用い、危険を想定した。



図1 KYTイラストシート

・KYTの発展形

研修後半では、現場で実際に行いやすいように、簡略化また短縮化されたKYTを行った。メモを取らずに口頭だけで進めるKYT（ワンポイントKYT）、作業開始時の作業内容指示から始まるKYT（適切指示即時KYT）などについて、3～5人でのグループ活動により進めた。

4. 参加した感想

- ・参加者中、女性は1人だった為、まだまだ女性の参加率若しくは現場率は少ないのだという事を実感しました。また、危険予知をしない場合を100%とすると、それを行うことによって事故率が16%になるという結果を伺い、重要性を知りました。今後の学生実験などに役立てたいと思います。（伊藤）
- ・危険に対する問題点の抽出、解決の手法を学び、危険に対する感受性を高めることが出来たと思います。日頃から潜んでいる危険を察知し排除して、安全な実験、実習を出来るようにしていきたいと思います。（遠田）
- ・想定される危険の原因を具体的に掘り下げるのがとても難しく感じましたが、きちんと掘り下げるほど対策が立てやすくなることを学ぶことができました。今後の実験に生かしていきたいと思います。（一条）